

ダンボールコンポストの活用について（報告）

1 試用経過

平成30年4月2日に3人の委員にダンボールコンポストを提供し、各家庭で発生する生ごみをダンボールコンポストに投入してもらい、堆肥化されるまでの経過等を観察してもらうこととした。

5月24日 平成30年度第1回ごみ減量化委員会（5月7日時点での中間報告）

8月3日（本日） 平成30年度第2回ごみ減量化委員会（7月13日時点での報告）

2 試用結果（感想の概要）

- ・生ごみを入れてもかさが増えない。
- ・コーヒーのかすを入れると生ごみ等の臭いが消える。
- ・一定の水分（煮魚の汁、お茶の葉、揚げ物をした後の油など）や油を入れても良い。
- ・糖分を入れると土の温度が上がりやすくなる。
- ・土の温度が上がると、ダンボールのふたを開けたときに湯気が出るほど。
- ・初めてダンボールコンポストを使用する人は、夏の時期からではない方が良い。
- ・ダンボールコンポストがペットのように感じてくる。
- ・高齢者には、ペット感覚でダンボールコンポストを活用してもらえたら良いのでは。

・水分がある生ごみは堆肥になりやすく、逆に水分が少ないと堆肥になるまでに時間を要する。

・生ごみを入れる際は、真ん中だけではなく、端の方も含めてまんべんなく入れる方が良い。ただし、生ごみを端の方にあまり入れなかった場合は、ダンボールコンポストをかき混ぜれば良い。

・家庭菜園等で摘んだ葉や芽を入れても良い。

・家族の人数により生ごみがあまり出ない場合は、小さいダンボールを選ぶのも良い。

・ダンボールコンポストに取り組むのは難しいなという人は、水切りをしてほしい。

・畑を持たない家庭のために、作った堆肥の持って行き先を確保するのは重要。

・ダンボールコンポストは、とりあえず試してもらえれば、意外に良いもので、楽しく生ごみの減量化が出来るものだと思う。

※四角囲み内が今回記載した感想

3 今後について

3人の委員にダンボールコンポストを試用してもらった結果を踏まえて、市が行う以下の取組みに対し、ご意見をもらう予定である。

- (1) 今年度、地元説明会（ダンボールコンポストの補助金制度、資源拠点回収施設等）を行う予定のため、説明会で配付するダンボールコンポスト補助金制度の資料（他の自治体のホームページ等を参考に、A3・1枚程度でチラシを作成する等）
- (2) ダンボールコンポストの補助金制度の効果的な周知方法
- (3) ダンボールコンポストを市民が積極的に活用してもらうためのアイデア等

ダンボールコンポストで堆肥ができるまでのフローチャート

